

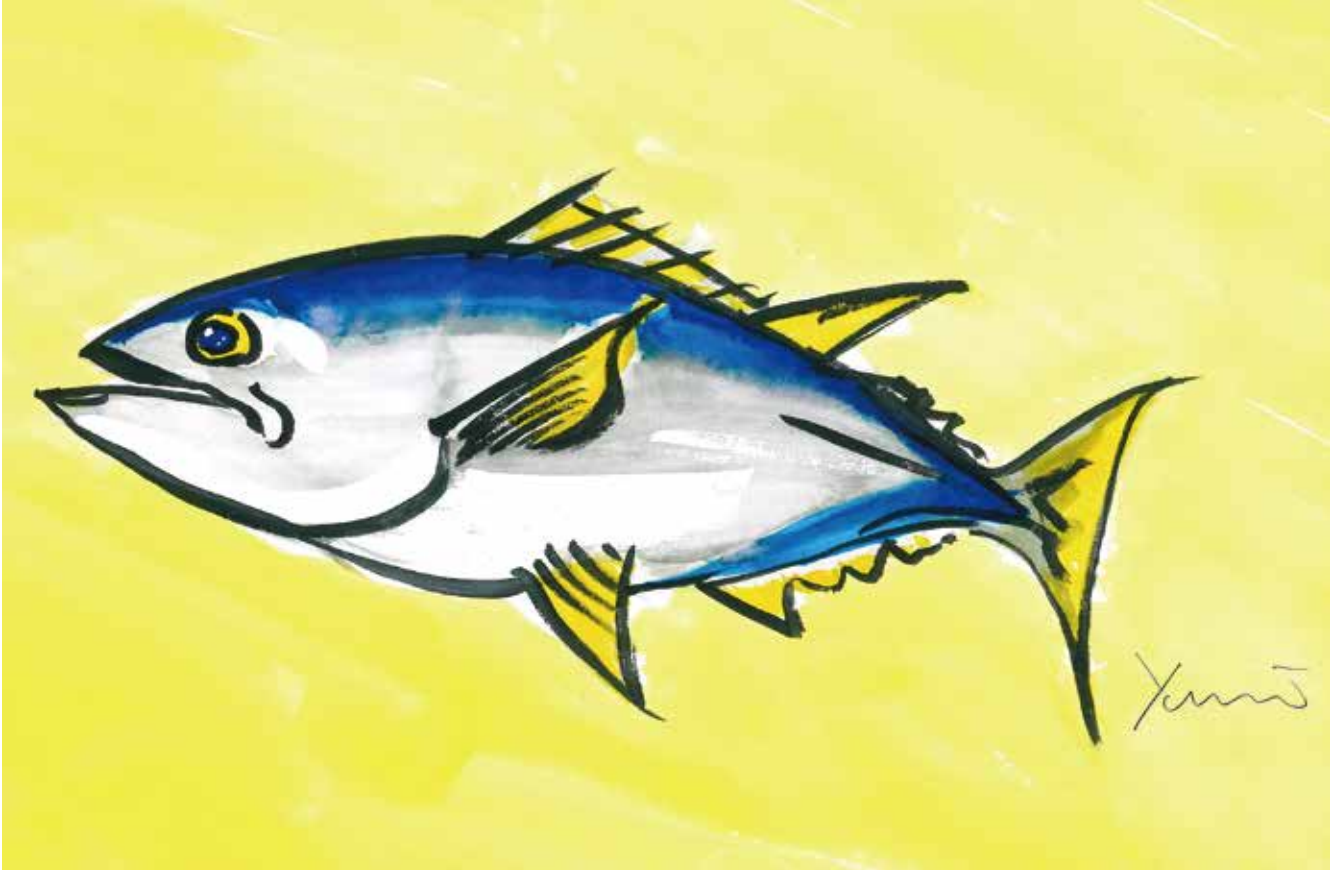
第323号

(平成31年1月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp

大阪府市場だより



絵：「まぐろ」磯野 由美（磯丸運送）

年賀交歓会を開催 府市場協会

平成31年を迎え、1月5日の午前8時50分から、大阪府中央卸売市場協会（理事長・三木博司、大阪北部中央青果（株）社長）が主催する年賀交歓会が管理棟7階大会議室で開催された。

来賓として、竹柴大阪府環境農林水産部長をはじめ、茨木市長の福岡洋一氏、衆議院議員の原田憲治氏・足立康史氏、府議会議員の松本利明氏・うらべ走馬氏・中野剛氏のほか、市場関係企業役員や団体役員ら約100人が出席した。



最初に、府市場協会の三木理事長は、本年は新天皇陛下が即位され、消費税が増税される予定であることを述べられたのち、「市場としては、卸売市場法の改正に伴う市場ルールを決めなければならぬ大変重要な年である。」と、二方、長期的な視点での取り組みとして、場内関係者が将来を見据えて府市場の在り方を検討するために、昨年常駐代表者会議で『市場施設等整備構想策定検討委員会』を立ち上げ、現状の府市場の強みと弱みを踏まえて話し合いを続けていく予定である。我々、場内関係者が一丸となって、日々の活動の中で府市場の活性化や将来を見据えた行動を着実に進めていくことにより、産地並びに販売先、そして消費者の皆様のご支援を勝ち取り、

最初に、府市場協会の三木理事長は、本年は新天皇陛下が即位され、消費税が増税される予定であることを述べられたのち、「市場としては、卸売市場法の改正に伴う市場ルールを決めなければならぬ大変重要な年である。」と、二方、長期的な視点での取り組みとして、場内関係者が将来を見据えて府市場の在り方を検討するために、昨年常駐代表者会議で『市場施設等整備構想策定検討委員会』を立ち上げ、現状の府市場の強みと弱みを踏まえて話し合いを続けていく予定である。我々、場内関係者が一丸となって、日々の活動の中で府市場の活性化や将来を見据えた行動を着実に進めていくことにより、産地並びに販売先、そして消費者の皆様のご支援を勝ち取り、

市場の発展につなぐことが出来るものと確信している」と述べられた。続いて、竹柴大阪府環境農林水産部長が知事祝辞を代読された。



竹柴大阪府環境農林水産部長は、卸売市場をめぐる厳しい環境と改正卸売市場法が来年6月に施行されるなど大きな転換期を迎えていることを指摘され、「府市場では『競争力ある市場』の実現に向け様々な取り組みを行っているが、とりわけ指定管理者の経営努力によりまして、管理運営業務の効率化と大幅なコスト削減を実現するなど、大きな成果を挙げている。今後とも、府市場が生

鮮食料品流通の基幹的インフラとしてその機能を発揮するとともに、更なる市場機能の向上に向けて、市場関係者の皆様方と一体となって取り組みを進める」と述べられた。《7頁に続く》



ご来賓の皆様



新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会理事長 三木 博司

新年明けましておめでとう
ございます。

平成31年の年頭にあたり、
謹んで新春のお喜びを申し上げ
ますとともに、旧年中に賜
りました当協会に対するご支
援、ご協力に心より厚くお礼
申し上げます。

昨年の当市場の出来事とし
て三つ挙げさせていただきます。
一つ目は「大阪府中央卸売市
場」が開場40周年を迎えるこ
とが出来たことであり、

新年あけましておめでとう
ございます。中央卸売市場関係
者の皆様におかれましては、平
成31年の輝かしい新春を迎え、
謹んで新年のお喜びを申し上げ
ます。また、日頃から、府民へ
の生鮮食料品の安定供給にご
尽力いただき、この場をお借り
して厚く御礼申し上げます。

だけでなく、市場を支えてきて
くださいました方々のご協力に
より、無事執り行うことが出
来ました。市場まつりにお集
まり頂いたご来賓各位並びに
3万人を超える府民の方々と
接するに際し、改めて皆様方
が「府民の台所を支える食料
供給基地」としての当市場の
重要性をお認め頂いている事、
他方では市場が皆様に支えら
れている事を再認識いたしま
した。

二つ目は、自然の脅威であり
ます。6月に当市場近辺を震
源とする大阪北部地震が発生
いたしました。市場内でも多
くの被害がありました。幸い

にも重大な人的被害は無く、
市場業務にもほとんど影響は
ありませんでした。震災復旧
の対策を行つている最中、台風
21号が近畿地方を縦断しまし
た。過去経験したことのない暴
風が市場を襲い、市場施設の一
部が被害を受けました。地震、
台風と度重なる自然災害被災
に対して、当市場は「常駐代表
者会議」において情報の共有と
復旧方針の意思決定を速やか
に行い、開設者と指定管理者
である大阪府中央卸売市場管
理センター株式会社が両輪と
なり迅速に復旧工事を行つて
おります。

三つめは、「卸売市場法及び

新年のご祝辞

大阪府知事 松井 一郎

昨年11月、皆さまと心をひと
つにして取り組んだ「2025年
万博」の開催が決定しました。
6月に開催される「G20大阪
サミット」とあわせて、世界の
人々に大阪のすばらしさを知つて
いただくまたとないチャンスです。

G20を成功させるとともに、
2025年万博については、若い
人たちをはじめ全世代の参画
のもとに、これまでの常識を打

ち破る、世界の課題の解決を図
るものに創り上げ、成長・発展
の流れを確かなものにしていか
なければならぬと考えており
ます。

さて、大阪府中央卸売市場
は、昨年5月に開場40周年の節
目の年を迎えました。これも卸
の皆様をはじめ関係業界
の方々のご支援、ご協力の賜物
であると心から感謝申し上げます。

食品流通構造改善促進法の二
部を改正する法律」が通常国
会において成立し公布された
事です。中央卸売市場を設立
する法的根拠である「卸売市
場法」が改正され、概ね国の関
与が減少し、開設者が補完す
る形になっていくと思われま
す。

客が増え、関西経済が活性化
する起爆剤になり、関西経済
のけん引役としての役割が期
待されます。東京一極集中と言
われ、最近落ち込み気味の関
西経済にも、明るい兆しが見え
てきます。10月に消費税増税
が予定されていますが、消費税
増税による一時的な景気の減
速があつても、政府の消費税増
税対策によるものだけでなく、
関西経済が底上げされ、当市
場の取扱量が増加することを
期待したいものです。

さて、今年、平成から新し
い元号に変わります。また、来
年には東京オリンピックが開催
され、2025年の大阪万国
博覧会の開催が決定いたしま
した。大阪万博の開催は観光

最後になりましたが、関係
各位のご健勝、ご多幸を心より
お祈り申し上げますとともに、
引き続き当協会へのご指導ご
鞭撻を賜りますよう、お願い
申し上げます。

ます。

一方、卸売市場をめぐる環境
は、食生活の変化にもなう生
鮮食料品の消費減少や、流通
手段の多様化に加え、来年6月
には改正卸売市場法が施行さ
れるなど、大きな転換期を迎え
ております。

こうした中、大阪府中央卸
売市場では、「競争力のある市
場」の実現に向け、様々な取組
みを行つていますが、とりわけ、
指定管理者の経営努力により
まして、管理運営業務の効率化
と大幅なコスト削減を実現す

るなど、大きな成果を挙げてお
ります。

今後とも、大阪府中央卸売
市場が生鮮食料品流通の基幹
的インフラとして、その機能を
発揮するとともに、さらなる市
場機能の向上に向けて、市場関
係者の皆様方と一体となつて取
組みを進めてまいりますので、
引き続きご理解ご協力をお願
いいたします。

結びに、本年が皆様にとつて
実りある素晴らしい年となり
ますことを祈念し、新年の挨拶
といたします。



新年のご挨拶 大阪府中央卸売市場場長 船木 昭夫

新年あけましておめでとうございます。

平成31年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年5月、大阪府中央卸売市場は、開場40周年の節目の年を迎え、農林水産省をはじめ、多数のご来賓にご出席を賜り盛大に記念式典を開催することができました。これもひとえに、市場内事業者、関係業界、出荷者をはじめとする関係者の皆

様方のご支援、ご協力の賜物であると、改めて感謝を申し上げます。

今後は、50周年、さらにはその先に向けて、当市場が大きく飛躍し、より一層の発展を遂げることができるよう、市場機能の向上に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

さて、卸売市場を取り巻く環境は、食生活の変化にともなう生鮮食料品の消費減少、市場外流通の増加等の影響により、大変厳しいものとなっている中、昨年6月に、改正卸売市場法が公布され、卸売市場

に係る抜本的な見直しが行なわれたところで、

とりわけ、第三者販売、直荷引き等の取引規制について、国による法律の規制が撤廃され、国の関与が大幅に減少する一方、各市場には独自ルールが求められるなど、卸売市場のあり方に大きな影響を与え

る可能性があります。大阪府といたしましては、卸売業者、仲卸業者の皆さまをはじめ、市場関係者の方々と意見交換を行い、連携を深めながら、当市場が生鮮食料品の流通拠点として、引き続き

きその機能を十分發揮できるようにルールづくり、仕組みづくりに注力してまいりたいと考えております。

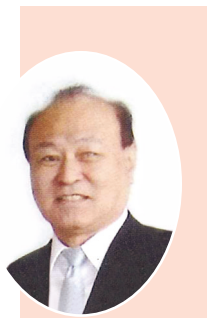
当市場では現在、平成29年3月に策定した経営戦略「大阪府中央卸売市場経営展望」に基づき、市場の活性化に向けた様々な取り組みを進めております。中でも、指定管理者である大阪府中央卸売市場管理センター株式会社におかれては、民間会社であるメリットを十分に発揮し、サービス水準を低下させることなく、徹底した経費の節減を図るなど、効率的な運営と大幅なコスト削減を実現し、市場の活性化事業に還元いただいております。

また、昨年4月には、「清潔で美しい市場づくり」への取り組みの環

として、指定場所以外での市場内全面禁煙やルール違反者に対する入場禁止処分などの周知を徹底・実践し、大きな成果をあげております。

本年は、「競争力のある市場」の実現に向けて、経営展望に掲げる行動計画を着実に実行していく中で、交通の利便性を活かしたハブ機能やゴールドチェーン化など、新たな機能の付加について検討を進めてまいり所存ですので、引き続き、当市場の業務運営にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市場関係者の皆さま方の益々のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶 大阪府中央卸売市場管理センター代表取締役 山口 秀雄 統括 宮前 茂

しました。

同夜、私も立ち合い、大阪府のご協力のもと判定士ほか4名の専門家によって審査をしていただき、安全が確認され、立入禁止のレッドカードは辛うじて回避することができました。

その後も大型台風による被害が発生しましたが、人手と資材不足の中、いち早く復旧工事に着手し、市場まわりの開催にも支障を来すことなく、例年以上に充実したものにすることができました。

これもひとえに、開設者を始め市場関係者のご協力のもと、社員が一丸となつて機敏な対応ができた結果であると存じます。改めて感謝申し上げます。

ける次第です。

改正市場法並びに政省令は、昨年それぞれ公布、制定され、来年6月に施行となり、開設者において条例の改正作業に着手されていますが、市場では既に先駆的に実施してきた内容が多く、現行の取引業務に大きな影響が生じないものと考えています。法令がどのように改正されるよう

な、厳しい経営環境を克服し、競争力のある市場を目指していくことが私共に課せられた最大の使命であり

ます。ひるがえって、府市場は築40年以上が経過し、時代のニーズにそぐわない様々な歪みが生じてきており、この

ままでは川上川下から敬遠され、近い将来、市場そのものの存続が危ぶまれるという危機感をもっています。

このような懸念を払拭し、今後とも必要な市場として認知していただくためには、時代のニーズに即しながら次世代に誇れる市場づくりを目指していかなければなりません。

このため、昨年11月、管理センターが事務局となり市場関係者30名で構成される「市場施設等整備構想検討委員会」を立ち上げ、また、その傘下に青果及び水産の分科会を設置したところであり、年内にもたたき台として中・長期の基本構想をまとめ上げたいと考えています。

一方、鮮度を保持していく上で売場の温度管理が喫緊の課題となっておりますので、必要度の高い水産売場の低温管理の実現に向け、その技術的手法やコスト等について専門家と検討してまいりました。そして、

昨年末には基本計画としてまとめることができましたので、今後、費用対効果も見極めながら事業の具現化に向け、開設者始め場内関係者と協議してまいります。

また、青果2階大屋根につきましては、輸出拡大等に対応できるよう、拡張工事を行うこととしていますが、地震・台風の影響を受け資材調達に困難を極めている中、用途を付け、3月末には完成できるよう工事を進めているところであります。

多忙な年になります。中央卸売市場の唯一の指定管理者として引き続き全社員が丸となり、熱き想いをもつて市場の発展に努めてまいりたいと存じます。

結びに、関係各位の皆様方の一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。心からお願い申し上げます。皆様方にとりまして良い年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とします。

あけましておめでとうございます。皆様方には、平成31年の新春を健やかに迎えたいと存じます。この平成の元号も残すところ3か月余りとなり、何となく寂しく感じます。ともに平成の時代における様々な出来事が走馬灯のように頭の中を駆け巡っています。

特に昨年は、北部地震により卸棟を中心に甚大な被害を受け、市場業務の継続が懸念されましたが、人命最優先の立場から発災当日に「応急危険度判定士」による建築物の危険度の判定をしていただくことを決断

新年特集

常駐代表者の皆さんからの新年のご挨拶(要旨)



**50周年を目標に
着実に実績を積み重ねる**
大阪北部中央青果(株)
代表取締役社長 三木 博司

昨年を振り返りますと、自然災害の脅威を思い知らされた年でありました。6月に当大阪府中央卸売市場近辺を震源とする大阪北部

致しました。
当市場以外では、台風7号と梅雨前線により発生した平成30年西日本豪雨や、北海道胆振東部地震があり、農作物だけでなく人的にも多くの被害が出ました。又、北海道には梅雨が無いと言われていたが、昨年は長雨が夏場にあり農産物の生育が悪く、生産量が減少致しました。
最近では毎年異常気象の報道がよく聞かれますが、今まで異常気象と言われていた気候が、昨今では当り前の気象になりつつあります。
当社は、当市場に入場すべく大阪中央青果株式会社が核となり、北摂地域周辺の地方卸売市場数社が力を合わせ設立致しました。昨年、晴れて市場開場40周年を迎えることが出来ました事は、二重に支えて頂きました皆様方のお陰と感謝致しております。
今年、平成より新しい元号に変わります。来年には東京オリンピックが開催され、2025年には大阪万国博覧会が開催されることとが決定いたしました。万国博覧会には1800万人の来場が予想され、関西経済の底上げが、期待されます。次の節目である50周年を目標に先ず第一歩と考えて着実に実績を積み重ねたいと思っております。



将来を見据えて
大果大阪青果(株)
専務取締役北部支社長 酒井 孝博

昨年は厳しい寒さの冬と北陸を中心とした豪雪に始まり、全国的に早い梅雨明け、7月の西日本豪雨、記録的な猛暑(災害級)・早魃に盛夏期の多い台風発生(14回)、又6

部地震・台風21号の際、大阪府管理センター皆様方の厳しい中でのスピード感溢れる対応により日々の業務に支障をきたすことなく最小限の被害で済んだことを改めまして感謝申し上げます。
5月6日にはホテル阪急エキスポパークにて北部市場開場40周年記念式典・祝賀会が開催され諸先輩方が歩んできた道、今後40年・50年歩んでいかなければならない道を考えるのと身が引き締まる思いがしました。
11月26日に市場施設等整備構想策定検討委員会のもとに青果分科会及び水産分科会が設置され、青果分科会委員の互選により幹事となりました。昭和47年・48年に実施設計された当市場も老朽化し、又流通の構造変化、産地からの要望、小売業界からの要望事項に対応しきれていないのが実状です。
大阪府中央卸売市場中期経営計画に示されている、恵まれた立地条件を生かし産地・小売・消費者に支持される安心・安全、又競争力のある市場を目指し委員、又青果関係者の皆様方と協議を重ね、今後50年物流・商流の拠点となり得る青果市場の絵を描き、大阪府・管理センター・仲卸組合卸売会社の皆様方と協力し北部市場発展に寄与できる様努めてまいります。



市場の発展、活性化に努める
株うおいち
常務執行役員北部支社長 小笠原 元功

昨年は、西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震のほか、6月には大阪北部地震、9月には今世紀最強といわれた台風21号がこの北部市場をも直撃するという自然災害の激しい一年でありました。その様な中、我が北部市場は開設40周年

という大きな節目を迎えました。言葉で40年と云うのは容易いですが、実際には約半世紀の時間が流れており、ここに至るまでには多くの市場関係者の皆さまの並々ならぬご苦労やご尽力があったということに思いを馳せざるをえません。昨年11月には40周年を記念する市場まつりも盛大に行われ、3万人強の来場者がありました。お客様も鮮度の良い、値打ちを打ち出したさまざまな商品に納得されて多くの買い物をしてもらいました。来場者も毎年増加しているように感じています。
また、昨年は当市場にも関わる大きな出来事がありました。つめは卸売市場法の大改正が行われたことです。これから市場開設者をはじめ関係者による協議が行われ、来年6月には施行される予定です。
我々も当市場を担う荷受の一社としてしっかりと協議を進めていきたいと思います。二つめとしては開場以来40年を迎え、老朽化が進行している市場設備について整備構想策定検討委員会が設置され、11月には第一回目の委員会が開催されました。管理センター(株)の取りまとめのもと、9つの団体が協力して北部市場の将来像を議論していくこととなります。当社も積極的に市場の活性化に繋がる意見交換を行っていきたく考えます。
本年は平成から年号も新たに変わります。平成の時代は我々の業界にとっては本当に厳しいことが多かった時代だと思えますが、新年号になり、今年、明るい兆しが見えてくることを期待しています。北部市場は管理センター(株)が市場開設者と各市場関係者を纏めておられ、迅速に行動されており、我々の小さな意見もこまめに聞いて頂いております。これからもしっかりと気がついた事や意見を伝えていき、市場の発展、活性化に努めてまいります。

新たな年を迎えて



(株)大水北部支社
 上席執行役員支社長 板東 啓三

昨年は、「北部市場開場40周年」を記念する年にあたり関係各方面の皆様には温かいご支援

をいただき重ねてお礼を申し上げます。昨年の暮れの漢字「文字が「災」

になりました。北部市場が開場されてい地域におきましても春先から地震・台風等の災害に見舞われ市場内施設と周辺地域が被災しました。新たな年を迎え年号の改元と大阪万国博覧会の開催が大きく取り扱われています。これからの北部市場の新しい歴史を刻む環境も地球環境の変化を受

切に願っております。私どもも使命として、お客様のニーズに心えるべく集荷・販売に努め「賑わい」をつくり市場の活性化に繋げる努力を積み重ね北部市場の発展の為に取り組んでまいります。

府民の信頼と期待に応えて

流通拠点の役割を果たす



大阪府青果卸売協同組合
 理事長 東野 達雄

昨年は、西日本豪雨・大阪府北部地震が未曾有の大惨事となり、多くの尊い命が失われ自然の猛威をまざまざと見せつけられた年でありました。甚大な被害に遭われ未だ不自由な暮らしを余儀無くされている被災地の皆様は、言語に絶するものと拝察し改めてお見舞いを申し上げますと共に「一日も早い

復旧復興をお祈りする次第です。さて国内では、政府は消費税率を10月1日に予定通り8%から10%に引き上げ、これに伴い増税後の消費者の負担軽減策や財政出動による景気の下支えを図るとしており、食料品などの税率を8%に据え置く軽減税率の実施などの経済対策が予定されています。

当青果業界でも、昨年6月に改正卸売市場法が公布され、卸売市場を取り巻く状況は一大転機を迎えようとしています。同法は、最近における食品等の流通の多様化に対応する為、卸売市場に関する等々の規制に代えて認可制を設ける等の規制の見直しを行うとともに、食品等に関し流通の合理化を計画的に図る事業に対する支援、取引の適正化の為の調査等の措置を講ずるものです。卸売市場に関する基本方針で我々に直面する事は卸売市場の業務の運営に関する基本的な事項の卸売市場におけるその他の取

引ルールの設定です。開設者は法に基づき、取引参加者の意見を十分に聴いた上でその他の取引ルールとして、次のような行為について遵守事項を定める事ができると有ります。その中でも、①商物分離②第三者販売③直荷引き④自己買受⑤地方市場における受託拒否の禁止と有ります。開設者は、卸売業者及び卸業者を定める場合は、卸売業者及び仲卸業者だけでなく出荷者や売買取参加者を始めとする取引参加者の意見を漏りなく十分に聴き、議事録等を公表する等により今後の事業展開に関する新しいアイデア

売場の温度管理が喫緊の課題

大阪府水産物卸協同組合
 理事長 榎本 昭弘



昨年は、市場開場40周年の節目に当たりますことから、記念式典に続き市場まつりが盛大に開催され、いずれも成功裏に終えることができ、理事長としての職責の一端を担えたものと安堵いたしました。これもひとえに市場関係者を始め組合員の方々の協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

卸売市場法の改正につきましては、全水卸組連や近水卸組連ともども、農林水産省幹部職員に直接お会いし、仲卸業務に齟齬を来さないよう積極的な要望活動を行ってまいりました。私共の主張も一定反映され、改正法は来年の6月21日に施行される予定になっています。今後、大阪府の条例改正に舞台が移ってまいります

ので、近隣市場間で統一的な取引ルールにするなど引き続き開設者と十分に協議してまいりたいと存じます。卸売市場は今まさに大きな変革期にあり、府市場もそのあり方が問われていますが、難局を乗り越え、勝ち組となるためには、実現のための戦略を立てていかなければなりません。折しも、昨年11月、組合の勉強会である「木曜研修会」の全メンバーで豊洲市場を視察してまいりましたところ、見聞が広められ、有意義な勉強会になりました。

オープン当初は、物流動線の確保、店舗の狭隘など多くの問題点が指摘されてきましたが、場内の混乱は予想よりも少なく、日々の業務は比較的順調に行われているとの印象を受けました。また、閉鎖型施設として温度管理が充実しており、徹底した衛生管理に目を奪われました。一方、当市場は築40年が経過し、経年劣化が進み、使い勝手も悪く時代のニーズにそぐわない弱点が様々な形で表面化してきていますが、とりわけ売り場の温度管理は喫緊の課題であります。かねてからゴールドチェーン化の必要性が叫ばれていますが、残念ながら掛け声だけに終わってしま

ついでに、現在、管理センターにおいて、専門家を交え、水産物卸売場の温度管理の技術的手法を検討していただいておりますので、この結果を踏まえ、コストパフォーマンスも視野に入れた、整備事業費が確保できるような開設者始め関係先と折衝してまいります。

組合運営につきましては、あらゆる機会を通じて組合員の皆様方との接点をできるだけ多く持つよう努め、必要な情報を共有しながら、組合員の声を市場運営や組合活動に反映してまいりたいと存じます。

ま

ま

業績改善へ努力

(株)北部冷蔵サービスセンター

代表取締役社長 巽 計廣



昨年は、平昌オリンピックをかわきりに日本人アスリートの目覚ましい活躍があった一方パウハラなど不

祥事の多い年でもありました。また、北部大阪では地震、台風など災害に見舞われ未だ復興出

来ない地域も多数みられます。世界に目を向けますとアメリカと中国の覇権争い、自国ファースト

化、株価の乱降下など不透明な状況が続くと思われ、そんな中

当市場も40年を経過し施設の老朽化、市場経由率の低下、輸入商品の価格の高止まりなど数えたらきりがな程の問題がでてきて

おります。ただ、当市場は管理センター、開設者を中心に各代表者により諸問題を解決するべく常駐

代表者会議があり、今後は改善されるものと思われ、今後は改善されるものと思われ、今後は改善

コールドチエーンが必要とされるなかで市場内の冷蔵庫は必要不可欠な施設と確信しています。本年は年号も変わる節目の年

でもありますので心機一転業績改善に努めてまいります。

加工食品卸売団地の再整備に着手

(株)大阪府食品流通センター

代表取締役常務 田中 英治



平成最後の年は、記録づくめの異常気象「災」に見舞われました。大阪府北部地震や台風21号により、

当市場も多大な被害を蒙りましたが、被災されました市場関係者の

方々には心よりお見舞いを申し上げます。

昨年は、豊洲市場の開業をasmusoミが大きく取り上げたことにより、中央卸売市場が一般に周知される

こととなりました。また、当市場でもお馴染みのターレットトラックも繰り返し走行シーンが放映されたことで、「躍」全国区となりました。

一方で、卸売市場の行く末を左右する卸売市場法の改正法案が成立し、来年の施行に向けてのルール作りが急がれます。

合食品供給基地を目指すというものであります。本年度、経営移管後5年目を迎えることとなりましたが、当社では、加工食品卸売団地の再整備計画を立案中であり、2年後の移転開業を目標に、具体的施策を進めていくこととしており、

まずは、本年4月以降、店舗をA棟の西側半分に集約し、各店舗の営業を継続させていただきながら、現在の駐車場エリアにて、新棟の建設準備を進めさせていただき予定です。

工事期間中は、お買い回りにご不便をおかけいたしますが、工事に際しましては、十分な安全配慮に心掛けますとともに、快適性や利便性を高めるための施設整備に努めさせていただきます。

なお、引き続き、毎月最終土曜日の「こだわり市」などの開催を通じて、地域のお客さまに長く愛される売り場づくりを努めてまいりますので、皆さま方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

茨木恵美須神社に奉納・祈願

奉納・祈願

府青果卸売協同組合（東野達雄理事長）と(株)中央卸売市場管理センター株式会社（山口秀雄社長）は、1月8日に、地元茨木の恵美須神社へ商売繁盛・招福を願って、青果物と「招福だまぐろ」を奉納した。

午前8時に、法被姿の関係者20人が、奉納品を拜殿に運び込んだ。奉納式では、関係者が参列する中、宮司のお祝いの言葉を述べ、玉串奉奠し、祈願を行った。奉納の品は、特大の冷凍メバチマゲロ（140キロ）、メイクイン・玉ねぎ・白菜・リンゴ・みかん10kgが各5ケースの計25ケー



ス。マゲロの頭や腹にさい銭が見事貼り付けば、その年は「銭が身につく」との縁起があり、大勢の参拝者の人集めしている。

商売繁盛で笹もついで！

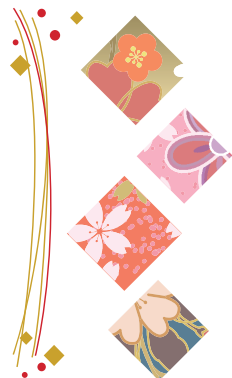
笹もついで！

1月11日の10時、地元茨木神社・「宝恵かこ」一行30名が

来場。管理棟玄関前で、船木府市場場長と田中食品流通センター代表取締役、次いで船木場長が一行に歓迎の挨拶をされた後記念撮影を行った。一行は高らかに打ち鳴らされる太鼓に合わせて、「商売繁盛で笹もついで！」の威勢の良い声を響かせながら



ら市場から加工団地へ巡行。祝儀の申し出の際には、福娘から奉納者に福笹が手渡され、今年一年の「招福来幸・商売繁盛」を祈念して三本締めを行った。



《1頁から続く》



主催者の皆様

次いで、来賓代表の祝辞があり、福岡茨木市長は、「昨年は市場が40周年を迎えることが出来る、うれしく、思う」「市場の皆さんのご尽力で、大阪産のPRや大学との連携等を推進し、食育に努めていただいている。今後とも市場の皆さんとともに、手を携えてまちの発展に努めたい」と述べられた。



市長 福岡茨木市 原田衆議院議員は、「G20のサミットで20か国だけでなく多くの世界からトツプレベルのお客さんがお越しになる。ぜひこの大阪で大阪産(もん)を食べ歩いていただきたい、という取り組みも府でしていただいている。府民生活、消費者の皆さんと直接結び付く市場を大事にしながら、これからの支援してまいりたい」と述べられた。



原田衆議院議員は、「全国の中央卸売市場の中で大阪の市場が最先端を走って、日本の卸売市場の未来を創っていく、リーダーとして今年も大きく飛躍していただきたい。国会からご支援した

「全国の中央卸売市場の中で大阪の市場が最先端を走って、日本の卸売市場の未来を創っていく、リーダーとして今年も大きく飛躍していただきたい。国会からご支援した

い」と述べられた。



来賓の紹介後、府市場管理センターの山口秀雄社長のご発声で乾杯が行われた。

そのご挨拶で「開場40周年を迎えて、老朽化に加え市場の役割方がスピードアップで変わって行く。竹柴環境農林水産部長のご理解と船木場長のご協力のもと、市場施設等整備構想策定検討委員会を立ち上げることが出来ました。来賓の紹介後、府市場管理センターの山口秀雄社長のご発声で乾杯が行われた。



中央卸売市場のなかで、大阪府市場のなかで、船木場長が中締めと

中央市場を頭におきながら計画を進めて参りたい。ご来賓の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いしたい。」と述べられ、会場の皆様のご健勝と商売繁盛を願って乾杯の発声を行った。



中央卸売市場のなかで、大阪府市場のなかで、船木場長が中締めと

して、「他市場に負けない競争力のある市場を目指して頑張りたい。ご支援の市場を賜りますます活発になり、市場が発展しますとともに、皆様方のご健勝を祈念して「万歳三唱が声高らかに行われた。



卓球大会・ボウリング大会 各実行委員会を開催

府市場協会福利厚生部会(部会長小笠原元功(株)おいち北支社長)では、1月18日に、卓球大会とボウリング大会の各実行委員会を開催し、大会の実施要領を決定した。奮っての参加を呼び掛けている。

卓球大会
○開催日時：2月14日(木)12時30分集合
○場所：管理棟7階ホール
○組合せ：試合当日全参加者で抽選
○表彰：優勝準優勝3位(2名)参加申込：所属を通じて2月5日までに協会へ。

ボウリング大会
○開催日時：3月8日(金)午後2時
または4時からのいずれかの時間
○場所：ラウンドワン高槻店(高槻市辻子3-6-4)
○ゲーム代：無料(3ゲーム・貸靴・駐車料を含む)
○表彰：個人戦：優勝・準優勝：3位とび賞。団体戦：優勝・準優勝：3位
○選手登録：所属を通じて3月1日までに協会へ。



市場施設等整備構想策定検討委員会 青果分科会を開催

同委員会(幹事長：宮前管理センター(統括)の第1回青果部会(幹事：酒井大果大阪青果北部支社長)が11月20日に、部会メンバーのほか、府及び管理センター、事務局の青果組合のメンバーが出席し開催された。酒井幹事から会議に先立って、「お金のことは横におき、ゼロベースで考えて、青果組合及び卸の要望事項を取りまとめた」と述べられ、現時点での委員の問題意識や今後の部会の進め方について熱心な協議が行われた。協議の進め方として、幹事にたたき台を作ってもらってこれをもとに協議を進めてはどうかといった意見や、施設についての具体的なアイデアも述べられ、今後これらの意見をもちに協議を進めることとされた。また、青果市場として先

《主な出席メンバー(敬称略)》北果：三木社長・高崎取締役・三戸部執行役員、大果：酒井支社長(幹事)・樋口常務取締役・間宮常務取締役、青果組合：永富副理事長・生嶋事務局長、大阪府：余田次長・黒川課長・小園課長・石田課長、管理センター：宮前統括(幹事長)他

安全運転講習会を開催

市場協会安全部会(部会長 東野達雄 府青果卸売協同組合理事長)では、1月17日、管理棟会議室で、茨木警察署交通安全課の藤本係長を講師にお願いして安全運転講習会を開催し、27名が受講した。東野安全部会長が「市場内の交通事故件数が、平成29年4月から12月の件数が51件、30年の同じ時期では47件とほぼ同数であったが、人身事故で見ると、2件が9件に増加しており由々々しき事態となっている。この機会に意識改革をお願いしたい」と挨拶。

藤本講師の主な指摘は次の通り①府域での平成30年の人身交通事故件数は34,281件で29年より1,716件減少。死者数では30年が147人、29年より3人減少。②茨木市での上記件数は、21年1,613件だったが、30年



活気溢れる初市!

府市場では、平成31年新春の初市が5日早朝に行われた。4時15分からのマグロの初せりから始まって、ちりめんのせり、鮮魚のせり、5時40分からは果実のせりが行われた。新年の挨拶を交わした買い手の皆さんが、せり人の掛け声に応え、熱気に溢れていた。



まぐろの初せり



ちりめんの初せり



果実の初せり



鮮魚の初せり

水産の新年互例会

水産の新年互例会がせり場で4時40分から開催された。吉田水産物卸協同組合副理事長の司会のもと、板東大水支社長が新年の挨拶をされ、船木場長と古田府流通対策室長が祝辞を述べられた。次に、小笠原うおいち支社長の発声により声高らかに乾杯が行われた。



船木場長



板東大水支社長



小笠原うおいち支社長



古田府流通対策室長



衛 検
だ だ

HACCPの導入ってどうやるの? (その5)

食品衛生検査所

今回はHACCPで管理する工程について、他の工程とどのように区別して管理すればよいかをお話しします。

HACCPで管理する工程は、その工程までに残った危害を排除または健康被害が起きないレベルまで低減するため重要なポイントです。この工程で「何の危害を」「どのように管理し」「どの程度までなら健康被害がおきないか(許容)」「どう確認し」「許容できない場合どうするか」について事前に管理計画を作成する必要があります。前回、魚介類の販売について常に10℃以下であったことを「見える化」してお話をしましたが、これを管理計画にする

と「細菌性食中毒やヒスタミン食中毒という危害を」「冷蔵庫の設定温度を4℃にして管理し」「10℃まで許容し」「1時間に1回冷蔵庫の温度を確認し」「10℃以上になつていれば製品を廃棄する」ということになり、これを例のような表にするなど文書化しておくといでしょう。これらの条件は例であり、設定温度や逸脱時の措置方法などは各事業者が決定することになります。

計画が出来たら、その通りにモニタリングし記録を取ります。異常が発生した場合は、その内容と対処した内容も記録に残しておきます。こうして残した記録はHACCP

Pで管理していることを販売(出荷)先に示すことが出来る証拠と Pについて疑問があれば 食品衛生検査所にご相談下さい。

「見える化」が実現出来る。そもそも、販売(出荷)先からHACCPの導入状況について質問される機会に直面する方がいらっしゃるかと思います。HACCP

例) HACCPで管理する工程の管理方法

項目	内容
工程	保管
危害要因	食中毒菌の増殖、原材料の変性
発生要因	不適切な温度管理
管理手段	冷蔵庫内温度を4℃±2で管理する
許容限界	10℃以下 = 逸脱した場合、製品を廃棄する。
モニタリング	冷蔵庫内温度を1時間に1回確認し記録

卓球大会

月 日: 2月14日(木)
時 間: 12時30分~
場 所: 管理棟7階ホール
参加費: 無料
*申込み方法
各社・団体を通して市場協会へ
締切: 2/5(火)
主催: 大阪府中央卸売市場協会 福利厚生部会



卸売業者取扱高 (平成30年12月) 大阪府中央卸売市場

卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青 果	野 菜	11,213	105.5	2,126,683	73.8
	果 実	5,810	101.8	2,269,432	102.7
	小 計	17,023	104.2	4,396,115	86.4
水産物	生鮮水産物	1,835	90.4	2,112,936	99.0
	冷凍水産物	380	89.5	707,310	95.7
	加工水産物	1,089	95.4	1,360,795	99.3
	冷凍食品	375	91.8	228,541	97.6
	小 計	3,679	91.9	4,409,582	98.5
卸 売 業 者 計		20,702	101.8	8,805,697	92.0

開場日数 12月 平成30年 23日 29年 25日

<初荷入荷量>

	30年		31年	
	数量(kg)	前年比	数量(kg)	前年比
野 菜	503,800	105.3%	530,600	105.3%
果 実	136,800	109.9%	150,300	109.9%
青果合計	640,600	106.3%	680,900	106.3%
生 鮮	119,200	88.0%	104,900	88.0%
冷 凍	14,400	41.0%	5,900	41.0%
加 工	134,300	50.7%	68,100	50.7%
水産合計	267,900	66.8%	178,900	66.8%